

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

契約担当官代理
航空自衛隊第 1 1 飛行教育団
契約班長 太田 雄介

1 工事概要

- (1) 工 事 名 蒸気配管等更新工事
- (2) 工 事 場 所 航空自衛隊静浜基地
- (3) 工 事 内 容 本工事は、以下の工事を行うものである。

・概要：蒸気配管及び給水配管の更新

- (4) 工 期 契約締結日 ～令和9年3月31日
- (5) 本工事は、工事内訳明細書の提出を義務付ける工事である。

2 競争に参加する者に必要な資格

- (1) 予算決算及び会計令（昭和 2 2 年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- (2) 防衛省における一般競争（指名競争）参加資格（以下「防衛省競争参加資格」という。）のうち、「管」でA級、B級又はC級の格付を受けていること。（会社更生法（平成14年法律第154号）に基づき更生手続開始の申し立てがなされている者又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者については、手続開始の決定後、再度級別の格付を受けていること。）。
- (3) 会社更生法に基づき更生手続開始の申し立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者（（2）の再度級別の格付を受けた者を除く。）でないこと。
- (4) 一般競争参加資格確認申請書（以下「申請書」という。）及び申請書記載の競争参加資格確認資料（以下「資料」という。）の提出期限の日から開札の時点までの期間に南関東防衛局長から、工事請負契約等に係る指名停止等の措置要領について（防整施（事）第150号28.3.31）に基づく指名停止を受けていないこと。
- (5) 入札に参加しようとする者との間に資本関係又は人的関係がないこと。
- (6) 都道府県警察から暴力団関係業者として防衛省が発注する工事等から排除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者でないこと。
- (7) 情報保全にかかる履行体制について懸念が存在する者又は業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者は入札参加を認めない。

【契約金額が4500万円以上（建築一式9000万円以上）の場合は、(8)を適用】

- (8) 次の基準を全て満たす監理技術者又は主任技術者（以下「監理技術者等」という。）を当該工事に専任で配置できること。
 - ア 一級建築士又はこれと同等以上の資格を有する者である。【建築工事の場合】
 - イ 過去 1 5 年の間に同類と認める工事の経験を有する者である（原則、着工から完成まで従事している。）。
なお、当該経験が平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（旧防衛施設局及び旧防衛施設支局を含む。）の発注した工事に係るものにあつては、評定点合計が65点未満のものを除く。また、経験が工事成績相互利用登録機関が発注した工事で工事成績評定相互利用対象工事に該当するものである場合は、工事成績の評定点が65点未満のものを除く。
 - ウ 監理技術者にあつては、監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者である。

3 入札手続等

- (1) 担当部隊等
〒4 2 1 - 0 2 9 3 静岡県焼津市上小杉 1 6 0 2
航空自衛隊第 1 1 飛行教育団（静浜基地）会計隊契約班（太田）
TEL 0 5 4 - 6 2 2 - 1 2 3 4（内線 2 8 7, 3 2 2）
FAX 0 5 4 - 6 6 2 - 1 4 5 2

- (2) 入札説明書等の交付
 - ア 令和8年7月14日 から 令和8年9月9日 まで(行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)第1条第1項に規定する行政機関の休日(以下「行政機関の休日」という)を除く。)の毎日、午前8時15分から午後5時まで。
 - イ 交付場所
(1)に同じ
 - ウ 交付書類
入札説明書、仕様書、申請書、資料、その他契約担当官が必要と認めるもの
 - エ 交付方法
手交
なお、公告とともに公示している場合は、静浜基地ホームページの調達情報から入手可能である。
- (3) 申請書、資料及び資格審査結果通知書の提出期限等
 - ア 提出期限
令和8年8月18日 午後5時00分
 - イ 提出方法
持参又は郵送(書留郵便に限る。)若しくは託送(書留郵便と同等のものに限る。)(以下「郵送等」という。)する。
- (4) 入札書等の提出期限等
 - ア 提出期限
令和8年9月7日 午後5時00分
 - イ 工事費内訳明細書
工事費内訳明細書についても、入札書と同時に提出するものとする。
 - ウ 提出方法
持参又は郵送等
- (5) 開札の場所及び日時
 - ア 日時 令和8年9月10日 午前10時00分
 - イ 場所 航空自衛隊静浜基地 厚生センター1Fロビー

※ 入札書及び工事費内訳明細書を各々封筒に入れて封かんし、入札書を入れた封筒の表に「入札書在中」と朱書きする。さらにこれらを1つの封筒に入れて封かんし、封筒の表に工事名、開札日時及び商号又は名称を記載の上、提出する。また、一般競争参加資格確認通知書(入札説明書第7項第1号に示すもの)又はその写しを提出する。

4 その他

- (1) 手続において使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。
- (2) 入札保証金
免除
- (3) 契約保証金
納付。ただし、金融機関又は保証事業会社の保証をもって契約保証金の納付に代えることができる。また、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は契約保証金を免除する。
なお、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は請負代金額の10分の1(落札者が低入札価格調査を受けた者の場合は請負代金額の10分の3)以上とする。
- (4) 入札の無効 次に掲げる入札は無効とする。
 - ア 本公告に示した競争参加資格のない者のした入札
 - イ 申請書、資料を含む提出書類に虚偽の記載をした者のした入札
 - ウ 入札に関する条件に違反した入札
- (5) 落札者の決定方法
予決令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低の価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、そのものにより当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなる恐れがあつて著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者を落札者として行うことがある。
- (6) 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条の規定に基づいて作成された基準(以下「調査基準価格」という。)を下回っている場合は、予決令第86条の調査(以下「低入札価格調査」という。)を行うので、協力しなければならない。
- (7) 入札後、契約を締結するまでの間に、都道府県警察から暴力団関係者として防衛省が発注する工事等から除するよう要請があり、当該状態が継続している有資格者とは契約を行わない。
- (8) 契約書作成の要否
要
- (9) 適用する条項
本工事は、航空自衛隊標準契約条項建設工事請負契約条項、適用契約条項及び暴力団排除に関する特約条項(工事契約書)を適用する。
- (10) 資料のヒアリングを行う場合がある。
- (11) 関連情報を入手するための照会窓口
3(1)に同じ
- (12) 競争参加資格の級別の格付けを受けていない者の参加
2(2)に掲げる競争参加資格の級別の格付けを受けていない者も3(3)により申請書及び資料を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において当該資格の格付けを受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
- (13) 詳細は入札説明書による。

入 札 書

令和8年9月10日

契約担当官
航空自衛隊第11飛行教育団
会計隊長 針山 恵 殿

貴通知、公告に対し、入札及び契約心得・契約条項等承知の上、下記のとおり提出します。

住 所
会 社 名
代表者氏名
電話番号

件 名	蒸気配管等更新工事					
工 期	契約締結日～令和9年3月31日					
工 事 場 所	航空自衛隊静浜基地					
品 名（件名）	規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費		1	式			産業廃棄物収集 運搬費含む。
共通仮設費		1	式			
現場管理費		1	式			
産業廃棄物処理処分費		1	式			
一般管理費等		1	式			
法定福利費相当額		1	式			
	以下余白					
工事価格（入札金額）		(税抜)				

一 般 競 争 参 加 資 格 確 認 申 請 書

令和 年 月 日

契約担当官
航空自衛隊第 1 1 飛行教育団
会計隊長 針山 恵 殿

住 所 :

商号又は名称 :

代 表 者 氏 名 :

令和8年7月14日 付けで入札公告のありました 蒸気配管等更新工事に係る競争参加資格について確認されたく、下記の書類を添えて申請します。
なお、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）第70条の規定に該当する者でないこと及び添付書類の内容について事実と相違ないことを誓約します。

記

- 1 入札説明書5(2)に定める防衛省競争参加資格（資格審査結果通知書）の写し
- 2 入札説明書6(2)アに定める同種の工事の施工実績を記載した書面
- 3 入札説明書6(2)イに定める配置予定の技術者の資格等を記載した書面

以上

同種の工事の施工実績

会社名：

工 事 名 称 等	工 事 名	
	発 注 機 関 名	
	施 工 場 所	(都道府県名、市町村名を記入する。)
	契 約 金 額	(百万円単位で記入する。)
	工 期	年 月 ～ 年 月
	受 注 形 態 等	単体 / JV (出資比率)
工 事 概 要	構 造 形 式	
	規 模 ・ 寸 法	
	使用機材・数量	
	施 工 条 件	(市街地・軟弱地質等)
	そ の 他	
CORINS登録の有無		有 (CORINS登録番号) ・ 無

- 注： 1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。
- 2 CORINS登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINSの登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。
- 3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関（防衛施設局及び防衛施設支局を含む。）の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。

配置予定の技術者

会社名：_____

項 目		主任技術者又は監理技術者
氏 名		
最 終 学 歴		(学校名、学科名及び卒業年次を記入する。)
法令による資格・免許		(施工管理技士、建築士等の名称及び取得年月、監理技術者資格の取得年月日、登録番号及び登録会社並びに監理技術者講習の年月日及び修了証番号を記入する。)
工事の 経験の 概 要	工 事 名	
	発 注 者 名	
	工 事 場 所	(都道府県名、市町村名を記入する。)
	契 約 金 額	(百万円単位で記入する。)
	工 期	年 月 ～ 年 月
	従 事 役 職	(現場代理人、主任(監理)技術者等の名称)
	工 事 内 容	
	CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号) ・ 無
申 請 時 におけ る 他 の 工 事 の 従 事 状 況 等	工 事 名	
	発 注 者 名	
	工 期	年 月 ～ 年 月
	従 事 役 職	(現場代理人、主任(監理)技術者等の名称)
	本工事と重複する 場 合 の 対 応 措 置	
	CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号) ・ 無

注：1 必ず同種工事が確認できる内容で記載のこと。

2 CORINS登録の有無について、いずれかに○を付す。「有」に○を付した場合は、CORINSの登録番号を記載すること。「無」に○を付した場合は契約書の写しを添付すること。

3 記載する工事が、平成13年12月25日以降に完成した防衛省発注機関(防衛施設局及び防衛施設支局を含む。)の発注した工事の場合は、当該工事に係る施工成績評定通知書又は工事成績評定通知書等の写しを添付すること。

※工程表は、契約担当が必要と認める場合、徴取

別紙様式第 4
(用紙 A 4)

工 程 表														
												工事名：		
												会社名：		
項目	単位	数量	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20	10 20
■工程管理に対する技術的所見														

誓 約 書

契約担当官
航空自衛隊第 1 1 飛行教育団
会計隊長 殿

住 所
商号又は名称
代表者氏名
電 話 番 号

弊社は、過去 5 年間に防衛省発注の工事（業務）を完成（完了）・引渡ししておりますが、その際、契約条項に則り守秘義務に努めておりました。今回、本工事（業務）を受注する際には、過年度の契約と同様に、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員（持分会社にあっては社員を含む。）、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

別紙様式第 6

(用紙A 4)

(和暦) 年 月 日

誓 約 書

契約担当官

航空自衛隊第 1 1 飛行教育団

会計隊長 殿

住 所

商号又は名称

代表者氏名

電 話 番 号

弊社は、本工事（業務）を受注する際には、契約条項に則り守秘義務に努めること、また、契約を履行する一環として収集、整理、作成等した一切の情報については、発注者の同意なく、代表権を有する者、役員（持分会社にあっては社員を含む。）、管理職員等であっても、その取扱いを認められた者以外の者はこれに接しないこと、及び、職務上の下級者等に対してその提供を要求しないなど情報の保全に万全を期すこと、あわせて、本業務に従事する業務従事者若しくは親会社等の国籍その他これに類するものが、発注者との契約に違反する行為を求められた場合に、これを拒む権利を実効性をもって法的に保障されない国又は地域に該当する者及び国連安保理決議において労働許可を提供しないことが決定されている国又は地域に該当する者でないことを誓約いたします。

工事費(業務費)内訳明細書

入札件名： 蒸気配管等更新工事

工事場所： 航空自衛隊静浜基地

工 期： 契約締結日 ～ 令和9年3月31日

令和 年 月 日

(提出業者)

住所

会社名

代表者名

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
1 仮設工事	蒸気配管更新時 足場設置					
1 枠組本足場「手すり先行方式」 :600 枠 (500布枠)	足場高さ12m未満	512	m ²			
2 安全手すり	枠組本足場用 【手すり先行方式】	152	m			
3 仮設材運搬 枠組本足場 【手すり先行方式】	600枠	512	日			
4 仮設材運搬 安全手すり	枠組本足場用 【手すり先行方式】	152	m			
小計						

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
2 機械設備工事 撤去工事	蒸気配管更新					
1 蒸気管撤去	屋外配管 100A	43.4	m			
2 蒸気管撤去	屋外配管 80A	24	m			
3 蒸気管撤去	屋外配管 65A	41.8	m			
4 蒸気管撤去	屋外配管 50A	50.5	m			
5 蒸気管撤去	屋外配管 40A	23.2	m			
6 蒸気管撤去	屋外配管 20A	25.8	m			
7 ゲートバルブ撤去	一般弁類 100A	1	個			
8 ゲートバルブ撤去	一般弁類 80A	2	個			
9 ゲートバルブ撤去	一般弁類 65A	1	個			
10 伸縮管継手撤去	ベローズ形（複式） 100A	1	個			
11 伸縮管継手撤去	ベローズ形（複式） 65A	1	個			
12 蒸気管保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 100A	43.4	m			
13 蒸気管保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 80A	24	m			
14 蒸気管保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 65A	41.8	m			
15 蒸気管保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 50A	50.5	m			
16 蒸気管保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 40A	23.2	m			
17 蒸気管保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 20A	8.1	m			
18 蒸気弁類保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 100A	1	個			
19 蒸気弁類保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 80A	2	個			
20 蒸気弁類保温材撤去	ステンレス鋼板 屋外露出 65A	1	個			
小計						

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
3 機械設備工事 新設工事	蒸気配管更新					
1 蒸気管（配管用炭素鋼鋼管（黒））	溶接接合 屋外露出 100A	43.4	m			
2 蒸気管（配管用炭素鋼鋼管（黒））	溶接接合 屋外露出 80A	24	m			
3 蒸気管（配管用炭素鋼鋼管（黒））	溶接接合 屋外露出 65A	41.8	m			
4 蒸気管（配管用炭素鋼鋼管（黒））	溶接接合 屋外露出 50A	50.5	m			
5 蒸気管（配管用炭素鋼鋼管（黒））	溶接接合 屋外露出 40A	23.2	m			
6 蒸気管（配管用炭素鋼鋼管（黒））	溶接接合 屋外露出 20A	25.8	m			
7 ゲートバルブ	一般弁類 100A	1	個			
8 ゲートバルブ	一般弁類 80A	2	個			
9 ゲートバルブ	一般弁類 65A	1	個			
10 ゲートバルブ	一般弁類 50A	2	個			
11 ゲートバルブ	一般弁類 20A	12	個			
12 伸縮管継手	ベローズ形（複式） 100A	1	個			
13 伸縮管継手	ベローズ形（複式） 65A	1	個			
14 伸縮管継手	ベローズ形（複式） 50A	1	個			
15 伸縮管継手	ベローズ形（複式） 40A	1	個			
16 スチームトラップ	一般弁類 20A	1	個			
17 ストレーナ	一般弁類 20A	2	個			
18 保温材（配管保温）	屋外露出 100A	43.4	m			
19 保温材（配管保温）	屋外露出 80A	24	m			
20 保温材（配管保温）	屋外露出 65A	41.8	m			
21 保温材（配管保温）	屋外露出 50A	50.5	m			
22 保温材（配管保温）	屋外露出 40A	23.2	m			
23 保温材（配管保温）	屋外露出 20A	25.8	m			

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
24 保温材（弁類保温）	ステンレス鋼板 屋外露出 100A	1	個			
25 保温材（弁類保温）	ステンレス鋼板 屋外露出 80A	2	個			
26 保温材（弁類保温）	ステンレス鋼板 屋外露出 65A	1	個			
27 保温材（弁類保温）	ステンレス鋼板 屋外露出 50A	2	個			
28 保温材（弁類保温）	アルミ ガラスクロス 屋外露出 20A	12	個			
29 特別作業費		1	式			
小計						

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
4 塗装工事	蒸気配管更新					
1 蒸気管塗装（保温部）	配管用炭素鋼鋼管(黒管) 隠ぺい 100A	43.4	m			
2 蒸気管塗装（保温部）	配管用炭素鋼鋼管(黒管) 隠ぺい 80A	24	m			
3 蒸気管塗装（保温部）	配管用炭素鋼鋼管(黒管) 隠ぺい 65A	41.8	m			
4 蒸気管塗装（保温部）	配管用炭素鋼鋼管(黒管) 隠ぺい 50A	50.5	m			
5 蒸気管塗装（保温部）	配管用炭素鋼鋼管(黒管) 隠ぺい 40A	23.2	m			
6 蒸気管塗装（保温部）	配管用炭素鋼鋼管(黒管) 隠ぺい 20A	25.8	m			
7 蒸気管架台塗装	機器類塗装 支持金物及び架台類(露出)	64.69	m ²			
小計						

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
5 機械設備工事 撤去工事	給水管更新					
1 給水管撤去(配管用炭素鋼鋼管 ((白))	機械室・便所配管 100A	1.7	m			
2 給水管撤去(配管用炭素鋼鋼管 ((白))	機械室・便所配管 80A	14.35	m			
3 給水管撤去(配管用炭素鋼鋼管 ((白))	機械室・便所配管 40A	9.25	m			
4 給水管撤去(配管用炭素鋼鋼管 ((白))	機械室・便所配管 32A	8.25	m			
5 ゲートバルブ撤去	一般弁類 100A	2	個			
6 ゲートバルブ撤去	一般弁類 80A	3	個			
7 フレキシブルジョイント撤去	フレキシブルジョイ ント(ペローズ形) 100A	2	個			
8 フレキシブルジョイント撤去	フレキシブルジョイ ント(ペローズ形) 80A	3	m			
9 給水管保温材撤去(グラスウール)	アルミガラスクロス 機械室、書庫、倉庫 100A	1.7	m			
10 給水管保温材撤去(グラスウール)	アルミガラスクロス 機械室、書庫、倉庫 80A	14.35	m			
11 給水管保温材撤去(グラスウール)	アルミガラスクロス 機械室、書庫、倉庫 40A	9.25	m			
12 給水管保温材撤去(グラスウール)	アルミガラスクロス 機械室、書庫、倉庫 32A	8.25	m			
13 給水弁類保温材撤去(グラスウ ール)	屋外露出 100A	2	個			
14 給水弁類保温材撤去(グラスウ ール)	屋外露出 80A	2	個			
小計						

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
6 機械設備工事 新設工事	給水管更新					
1 給水管(一般配管用ステンレス鋼管)	溶接接合 機械室・便所配管 100A	1.7	m			
2 給水管(一般配管用ステンレス鋼管)	溶接接合 機械室・便所配管 80A	15.3	m			
3 給水管(一般配管用ステンレス鋼管)	溶接接合 機械室・便所配管 40A	9.25	m			
4 給水管(一般配管用ステンレス鋼管)	溶接接合 機械室・便所配管 32A	8.25	m			
5 ゲートバルブ(ステンレス)	一般弁類 100A	2	個			
6 ゲートバルブ(ステンレス)	一般弁類 80A	3	個			
7 ボールバルブ(ステンレス)	一般弁類 80A	2	個			
8 フレキシブルジョイント (ステンレス)	フレキシブルジョイント(ペローズ形) 100A	2	個			
9 フレキシブルジョイント (ステンレス)	フレキシブルジョイント(ペローズ形) 80A	3	個			
10 保温材(給水管)	屋内露出 100A	1.7	m			
11 保温材(給水管)	屋内露出 80A	15.3	m			
12 保温材(給水管)	屋内露出 40A	9.25	m			
13 保温材(給水管)	屋内露出 32A	8.25	m			
14 弁類保温(グラスウール)	屋内露出 100A	2	個			
15 弁類保温(グラスウール)	屋内露出 80A	3	個			
16 ボールバルブ(ステンレス)	一般弁類 32A	5	個			
17 フレキシブルジョイント (ステンレス)	フレキシブルジョイント(ペローズ形) 40A	3	個			
18 弁類保温(グラスウール)	屋内露出 40A	3	個			
小計						

細目別内訳書

名 称	摘 要	数量	単位	単 価	金 額	備 考
7 発生材処分						
発生材積み込み	ボード・木材類 (人力)	2.06	m ³			
発生材運搬	小規模、人力積込 2 t 積級	2.06	m ³			
発生材処分	保温材	618	k g			
小計						

仕 様 書

- 1 工事件名：蒸気配管等更新工事
- 2 工事場所：航空自衛隊静浜基地
- 3 工 期：契約締結から令和9年3月31日
- 4 工事概要：蒸気配管及び給水配管の更新

施工区分	施工内容	施工数量
蒸気配管更新	蒸気配管更新、蒸気配管・架台塗装 保温工事	209m
給水配管更新	ボイラー給水配管更新、保温工事	35m

5 一般事項

- (1) 本工事は、本仕様書及び関係法令による他、記載されていない事項は次の規定による。
 - ア 公共建築工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「建築標準仕様書」という。）
 - イ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）最新版（以下「設備標準仕様書」という。）
 - ウ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（修補版）最新版（以下「設備改修標準仕様書」という。）
 - エ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）最新版（以下「建築改修標準仕様書」という。）
- (2) 本工事の実施に当たっては、適用を受ける関係法令等(条例を含む。)を遵守し、材料の選定・品質性能の確保・工法の選定・検査方法等を行うものとする。
- (3) 本工事の施工に当たっては、設計図書（公共建築工事標準仕様書 1.1.1 一般事項（2））に明記なき事項といえども、技術的及び取合い上実施すべき事項については、請負業者の負担において実施する。
- (4) 本仕様書の内容に疑義が生じた場合並びに現場の収まり及び取合い等の関係で本仕様書によることが困難若しくは不都合な場合は、官側と協議するものとする。
- (5) 本工事に携わる施工者（下請け人を含む。）は、静浜基地への立入り及び静浜基地内での行動は、静浜基地諸規則及び監督官の指示に従うものとする。
- (6) 基地内の既存施設等の保護には十分注意を払うものとし、故意又は過失により破損した場合は、請負業者の負担において原状に修復するものとする。
- (7) 本工事により知り得た自衛隊及び基地に関する情報は、他に漏洩及び転用してはならない。
- (8) 携帯型情報通信・記録機器を持ち込む場合又は使用する場合は、監督官の指示に従い適切な保全処置を行うものとする。

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	—

- (9) 本工事に必要な関係書類の作成するパソコン等は、情報流出防止に万全を期するため、ファイル交換ソフトをインストールしていないものを使用すること。

6 共通事項

- (1) 請負業者は 500万円以上の工事を請け負う場合、工事実績情報システム（CORINS）への登録（（一財）日本建設情報総合センター）を行うものとし、登録期日は、公共建築工事(改修)標準仕様書1.1.4によるものとする。
- (2) 契約相手方は施工体制の適正化を図るために、「建設業法(第24条の8)」及び「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律(第15条)」に基づき、施工体制台帳及び施工体系図を作成し、監督官に提出するとともに、工事関係者が見やすい場所に掲示する。
- (3) 本工事の着手に先立ち、工程表を作成し、監督官の承諾を受けるものとする。
- (4) 本工事は、完全週休2日制工事（土日）の試行対象工事である。

ア 週休2日の考え方

- (ア) 完全週休2日（土日）とは、対象期間の全ての週において、原則として土曜日及び日曜日を現場閉所（現場休息）日に指定し、2日以上現場閉所（現場休息）を行ったと認められる状態をいう。ただし、対象期間の日数が7日に満たない週においては、当該週の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所（現場休息）を行っていれば、達成しているとみなす。また、土曜日又は日曜日に現場作業を行うこととされている場合は、受発注者間で協議した上で、当該曜日に代わる曜日を現場閉所日（現場休息日）に指定するものとする。

月単位の週休2日とは、対象期間内における全ての月で現場閉所（現場休息）日数の割合が28.5%（8日／28日）以上の水準に達する状態をいう。ただし、暦上の土曜日及び日曜日の日数の割合が28.5%に満たない月においては、当該月の土曜日及び日曜日の合計日数以上の現場閉所を行っている状態をいう。

通期の週休2日とは、対象期間において、28.5%（8日／28日）以上の現場閉所（現場休息）を行ったと認められることをいう。

なお、降雪、出水期、猛暑日等による予定外の現場閉所についても、現場閉所日数に含めるものとする。

- (イ) 対象期間は、工事着手日から工事完成日までの期間とするが、そのうち、年末年始6日間及び夏季休暇3日間、工場製作のみの期間、工事全体の一時中止期間、受注者の責によらず現場作業を余儀なくされる期間などは含まない。
- (ウ) 現場閉所日とは、巡回パトロールや保守点検等、現場管理上必要な作業を行う場合を除き、1日を通して現場及び現場事務所が閉所された日をいう。

イ 現場閉所実績報告書

受注者は、毎月末までに現場閉所実績報告書を作成し、翌月10日までに監督官へ提出するものとする。ただし、工事完成月については、監督官が指定する日までに現場閉所実績報告書を提出するものとする。

ウ 総合工事工程表の作成

受注者は、発注時の設計図書や発注者から明示される事項を踏まえ、総合工事工程表を作成する。

総合工事工程表を作成するに当たっては、当該工事の規模及び難易度、地域の実情、自然条件、工事内容、施工条件等のほか、建設工事に従事する者の週休2日の確保等、下記の条件を適切に考慮する。

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	—

- (ア) 建設工事に従事する者の休日（週休２日に加え、祝日、年末年始及び夏季休暇）の確保
- (イ) 建設業者が施工に先立って行う労務・資機材の調達、調査・測量、現場事務所の設置等の「施工準備期間」
- (ウ) 施工終了後の自主検査、後片付け、清掃等の「後片付け期間」
- (エ) 降雪、出水期、猛暑日等の作業不能日数
- エ 工事工程の共有
- (ア) 工事において、受発注者間で工事工程のクリティカルパスを共有し、工程に影響する事項がある場合には、その事項の処理対応者を明確にするものとする。
- (イ) 円滑な協議を行うため、施工当初において工事工程（特にクリティカルパス）と関連する案件の処理期限（誰がいつまでに処理し、どの作業と関連するのか）について、受発注者で共有するものとする。
- (ウ) 工事工程の共有に当たっては、必要に応じて下請け業者（専門工事業者等の技術者等）を含めるなど、共有する工程が現場実態にあったものとなるよう配慮するものとする。
- (エ) 工程に変更が生じた場合には、その要因と変更後の工事工程について受発注者間で共有すること。また、工程の変更理由が受注者の責によらない場合は、適切に工期の変更を行うものとする。
- オ 現場閉所の達成状況及び精査
- 対象期間における全ての週において完全週休２日（土日）が達成できていない又は月単位の週休２日が達成できていない場合は、補正した労務費（公共工事設計労務単価、電気通信技術者、電気通信技術員及び機械設備据付工）、共通仮設費率、現場管理費率及び市場単価等を請負代金額の変更により減額するものとする。
- (5) 本工事は競争参加資格確認申請書を提出し、競争参加資格に適合した者に対して、入札説明書に示す入札書の提出期限の６日前（行政機関の休日を除く）までに見積参考資料を交付する試行工事である。
- なお、「見積参考資料」は、契約書第１条の設計図書ではなく、見積上の参考資料であり、その有効期限は、本工事の開札日までとする。
- (6) 火気を使用する場合は、事前に監督官へ届け出るとともに、火気等の取扱いに十分注意し、火災防止の措置を講ずる。
- (7) 発生材の処理等
- ア 建設廃棄物の運搬及び置き場（仮置き場を含む。）は、監督官の指示に従うものとする。
- イ 建設廃棄物（金属類以外）は、請負業者において処理するものとし、処理する建設廃棄物については、マニフェストの複写を監督官に提出するものとする。
- ウ 請負業者は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」その他の関係法令による他、「建設副産物適正処理推進要綱（国土交通省事務次官通達）（平成５年１月１２日）」、「建設工事における再生資源の活用について（通知）（防整技第７４０５号）（平成２８年４月１日）」を遵守し、適正な処理を行うこと。
- エ 監督官の指示する発生材は、発生材の種類ごと計量し、監督官の指示した場所に集積するものとする。
- (8) 材料及び品質等
- ア 本工事に使用する材料等は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（「グリーン購入法」最新版）」に基づき、環境負荷を低減できる材料の選定に努めるとともに、本仕様書に定める品質及び性能

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	—

を有するものとする。ただし、J I S若しくはJ A Sのマーク表示のあるものを使用する場合又はあらかじめ監督官の承諾を受けた場合は、この限りではない。

イ 本工事で使用する材料等において、J I S若しくはJ A Sのマーク表示の無い材料を使用する場合は、次の(ア)～(カ)の事項を満たすとともに、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関が発行する資料等の写しを監督官に提出して承認を受ける。

- (ア) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。
- (イ) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。
- (ウ) 安定的な供給が可能であること。
- (エ) 法令等に定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること。
- (オ) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
- (カ) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。

なお、商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、事前に監督官の承認を受けること。

(9) 施工管理

ア 工事写真等

工事写真の撮り方は、「営繕工事写真撮影要領（国土交通省）最新版」を基準とする。

イ 提出書類

書 類 名 称	定 型	提出
着工届	官側書式	○
施工計画書	任意書式	○
現場閉所実績報告書	任意書式	○
施工台帳	任意書式	○
現場代理人・主任技術者設定通知書 現場代理人・主任技術者略歴書	官側書式	○
使用材料承認願	官側書式	○
施工写真綴	任意書式	○
発生材調書	官側書式	○
工事完成通知及び工事完成検査願	官側書式	○
引渡書	官側書式	○
関係省庁への届出書類	関係法令等の示す書式	○
マニフェスト	A票、D票、E票の写し	○
その他（監督官が指示する書類）	都度示す。	○

7 特記事項

(1) 足場

ア 設置する足場等については、労働安全衛生法、建築基準法、建設工事公衆災害防止対策要綱（建築工事編）その他関係法令に基づき、適切な材料及び構造のものとする。

イ 設置する足場は、枠組本足場600枠とする。なお、設置場所の状況により足場の種類を変更する場合は、監督官と協議するものとする。

(2) 配管施工

ア 新設蒸気配管は、配管用炭素鋼鋼管(JIS G 3452)を使用し、一般配管用鋼製突合せ溶接式管継手(JIS B 2311)にて接合する。接続方法を変更する場合は、監督官と協議するものとする。

イ 新設給水配管は、配管用ステンレス鋼鋼管(JIS G 3459 SUS 304)を使用し、配管用鋼製突合せ溶接式管継手(JIS B 2312)にて接合する。接続方法を変更する場合は、監督官と協議するものとする。

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	—

(3) 保温

- ア 新設蒸気配管の保温に使用する材料は、グラスウール保温材とし、外装材はステンレス鋼板(JIS G 4305)とする。材料を変更する場合は監督官と協議するものとする。
- イ 新設給水配管の保温に使用する材料は、グラスウール保温材とし、外装材はアルミガラスクロスとする。材料を変更する場合は監督官と協議するものとする。
- ウ 保温材の厚さは、設備標準仕様書表2.3.7(温水管・蒸気管)を適用する。

(4) 塗装

- ア 塗装箇所については、新設蒸気配管及び既設蒸気配管架台とする。なお、塗装回数等については、設備標準仕様書3.2.1.4のとおりとする。
- イ 蒸気配管架台は、既設物を再利用し、これに塗装するものとする。
- ウ 新設蒸気配管の素地ごしらの種別は、設備標準仕様書表2.3.8のとおりとする。
- エ 新設蒸気配管の錆止め塗料の種別は設備標準仕様書表2.3.9のとおりとする。
- オ 新設蒸気配管の錆止め塗料塗りの種別は、設備標準仕様書表2.3.10のとおりとする。
- カ 既設蒸気配管架台の下地調整の種別は、R B種とする。
- キ 既設蒸気配管架台の錆止め塗料の種別は、B z種とする。
- ク 既設蒸気配管架台の錆止め塗料塗りは、B種とする。
- ケ 既設蒸気配管架台は、合成樹脂調合ペイント(SOP)塗りとする。

(5) 撤去

- ア 蒸気配管及び給水配管更新の際、事前に官側が蒸気及びドレン並びに補給水等の内容物は排出し、作業可能な状態とする。
- イ 配管及び保温材等の撤去後の補修及び復旧については、撤去後の開口部及び取付ボルト等の状態が、新設工事の障害となる場合は監督官と協議するものとする。
- ウ 65A未満の弁類及び継手類は、配管と同時に撤去されるものとし計上しない。
- エ 65A未満の弁類保温は、配管と同時に撤去されるものとし計上しない。

8 その他

- (1) 蒸気配管更新作業において、既設蒸気配管と新設蒸気配管の更新は、平日15時までとし、以降は既設蒸気配管と新設蒸気配管の再接続作業を行うものとする。その際、17時から送気できる状態まで復旧させるものとする。また、作業時間を変更する場合は監督官と協議するものとする。
- (2) 給水配管更新作業において、既設給水配管と新設給水配管の更新は、ボイラーの運用に影響する場合は平日15時までとし、以降は既設給水配管と新設給水配管の再接続作業を行うものとする。その際、17時からボイラーの運用ができる状態まで復旧させるものとする。また、作業時間の変更及びボイラー休止期間を設ける場合は監督官と協議するものとする。
- (3) 蒸気配管及び給水配管の切り離し及び再接続並びに接続方法等について特記事項 8 その他 (1)及び(2)のため、施工方法等を変更する場合は監督官と協議するものとする。
- (4) 蒸気配管及び給水配管施工にあたり、配管及び弁類並びに継手類が異種金属の場合、必要な電食防止処置を行うものとする。
- (5) 基地から電気、水道等の供給を受けたい場合は、監督官と協議するものとし、使用料金は請負業者負担とする。

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	—

9 設計数量表

名 称	規 格	単位	撤去数量	施工数量	図面 番号	備考
足場	枠組み本足場 600枠	m ²		512.00	2, 6	
安全手すり	枠組み本足場用	m		152.00	2, 6	
仮設物運搬	枠組み本足場 600枠	m ²		512.00	2, 6	
仮設物運搬	安全手すり	m		152.00	2, 6	
蒸気管	配管用炭素鋼鋼管 100A	m	43.40	43.40	3, 4 5	
蒸気管	配管用炭素鋼鋼管 80A	m	24.00	24.00	6	
蒸気管	配管用炭素鋼鋼管 65A	m	41.80	41.80	3, 4 5	
蒸気管	配管用炭素鋼鋼管 50A	m	50.50	50.50	6, 7 8	
蒸気管	配管用炭素鋼鋼管 40A	m	23.20	23.20	6, 7 8	
蒸気管	配管用炭素鋼鋼管 20A	m	25.80	25.80	4, 6 8	
ゲートバルブ	100A	個	1	1	5	
ゲートバルブ	80A	個	2	2	6	
ゲートバルブ	65A	個	1	1	5	
ゲートバルブ	50A	個		2	6	撤去は配管 撤去に含む。
ゲートバルブ	20A	個		12	4, 6 8	撤去は配管 撤去に含む。
伸縮管継手	100A ベローズ形（複式）	個	1	1	3	
伸縮管継手	65A ベローズ形（複式）	個	1	1	3	
伸縮管継手	50A ベローズ形（複式）	個		1	7	撤去は配管 撤去に含む。
伸縮管継手	40A ベローズ形（複式）	個		1	7	撤去は配管 撤去に含む。
スチームトラップ	20A	個		1	6	撤去は配管 撤去に含む。
ストレーナ	20A	個		2	4, 8	撤去は配管 撤去に含む。
保温材	100A SUSラッキング含む。	m	43.40	43.40	3, 4 5	
保温材	80A SUSラッキング含む。	m	24.00	24.00	6	

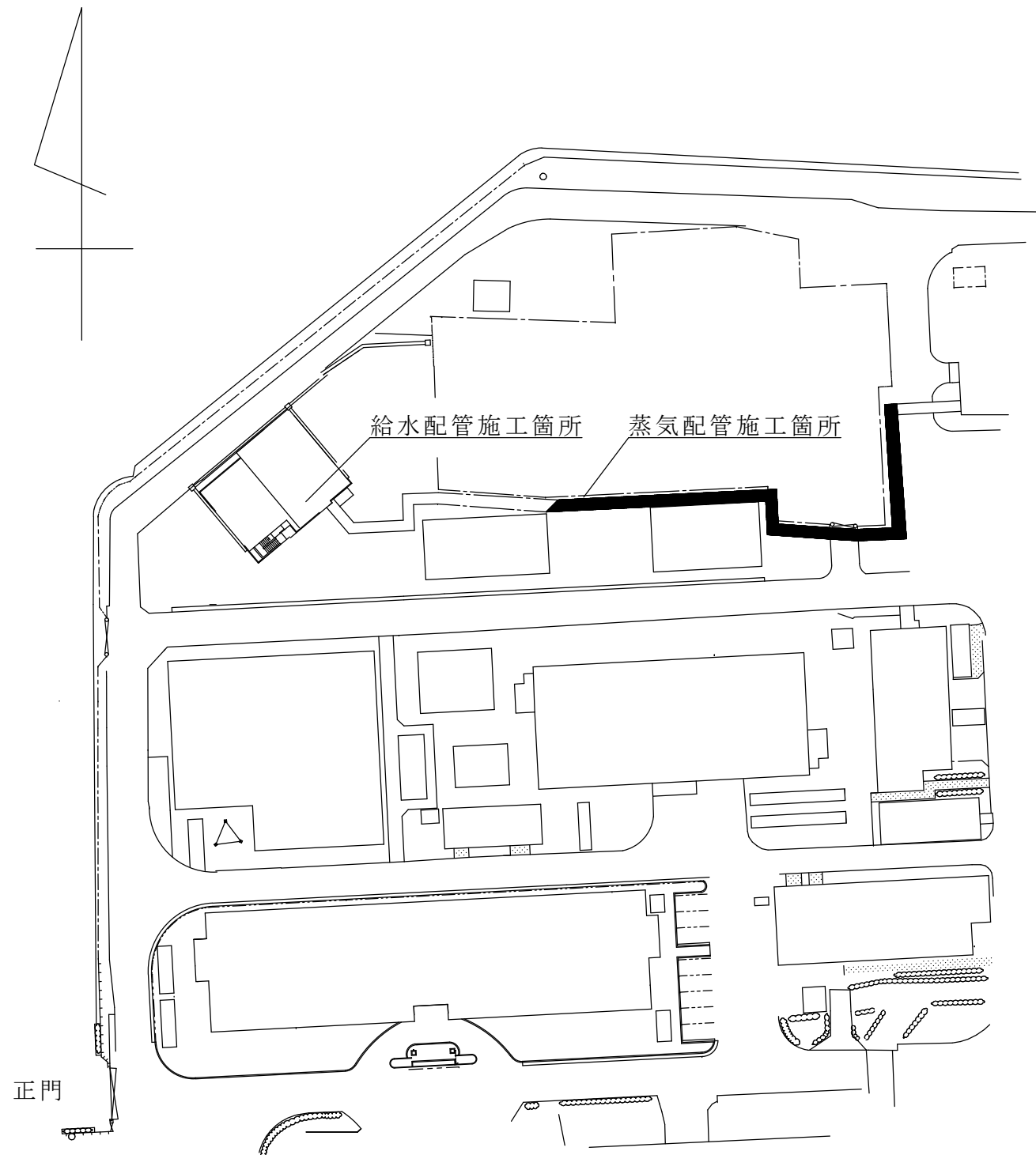
工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静岡基地 施設隊		特記仕様書	—

名 称	規 格	単位	撤去数量	施工数量	図面番号	備考
保温材	65A SUSラッキング含む。	m	41.80	41.80	3, 4 5	
保温材	50A SUSラッキング含む。	m	50.50	50.50	6, 7 8	
保温材	40A SUSラッキング含む。	m	23.20	23.20	6, 7 8	
保温材	20A SUSラッキング含む。	m	8.10	25.80	4, 6 8	新設時20A管 は全て保温
保温材	弁類100A SUSラッキング含む。	個	1	1	5	
保温材	弁類80A SUSラッキング含む。	個	2	2	6	
保温材	弁類65A SUSラッキング含む。	個	1	1	5	
保温材	弁類50A SUSラッキング含む。	個		2	6	撤去は配管 撤去に含む。
保温材	弁類20A SUSラッキング含む。	個		12	4, 6 8	撤去は配管 撤去に含む。
蒸気管塗装	隠ぺい 100A	m		43.40	3, 4 5	
蒸気管塗装	隠ぺい 80A	m		24.00	6	
蒸気管塗装	隠ぺい 65A	m		41.80	3, 4 5	
蒸気管塗装	隠ぺい 50A	m		50.50	6, 7 8	
蒸気管塗装	隠ぺい 40A	m		23.20	6, 7 8	
蒸気管塗装	隠ぺい 20A	m		25.80	4, 6 8	
蒸気配管架台塗装	配管架台類（露出）	m ²		64.69	11	亜鉛メッ キ鋼面
給水管	配管用炭素鋼鋼管（白） 100A	m	1.70		9	新設時ステ ンレス配管
給水管	配管用炭素鋼鋼管（白） 80A	m	14.35		9	新設時ステ ンレス配管
給水管	配管用炭素鋼鋼管（白） 40A	m	9.25		9	新設時ステ ンレス配管
給水管	配管用炭素鋼鋼管（白） 32A	m	8.25		9	新設時ステ ンレス配管
フレキシブルジョイ ント	フレキシブルジョイント（ペロー ズ形） 100A	個	2	2	9, 10	
フレキシブルジョイ ント	フレキシブルジョイント（ペロー ズ形） 80A	個	3	3	9, 10	
ゲートバルブ	鋳鉄 100A	個	2		9	新設時ステ ンレス製

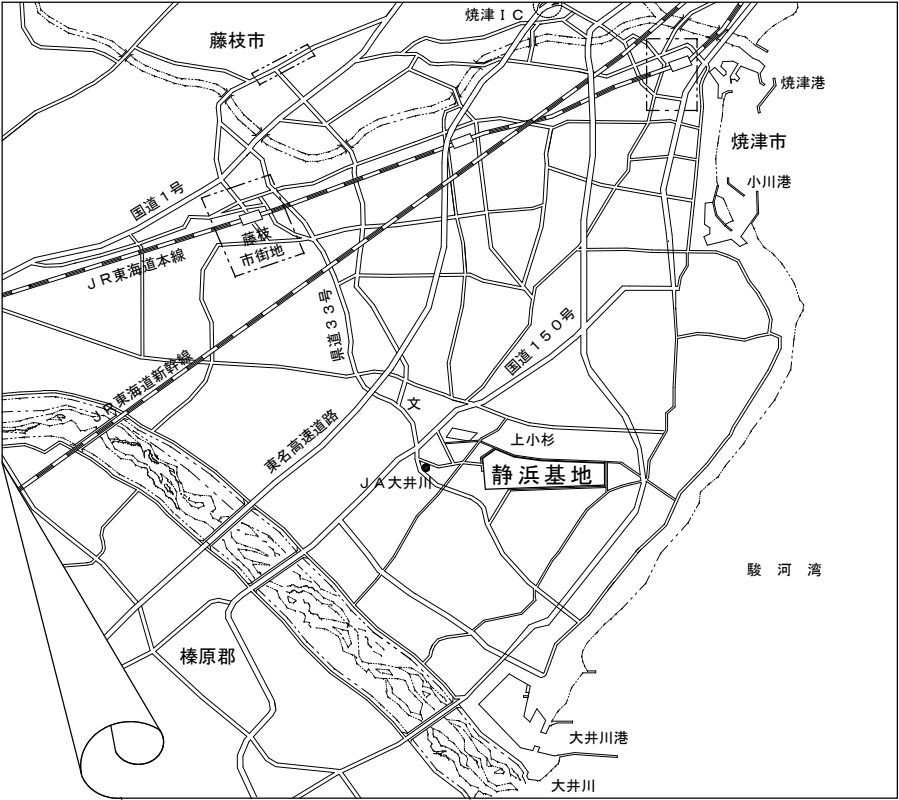
工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	—

名 称	規 格	単位	撤去数量	施工数量	図面番号	備考
ゲートバルブ	铸铁 80A	個	3		9	新設時ステンレス製
ボールバルブ	80A ステンレス	個		2	10	新設
給水管保温	グラスウール 100A	m	1.70	1.70	9, 10	
給水管保温	グラスウール 80A	m	14.35	15.30	9, 10	新設分数量増加
給水管保温	グラスウール 40A	m	9.25	9.25	9, 10	
給水管保温	グラスウール 32A	m	8.25	8.25	9, 10	
ゲートバルブ	ステンレス 100A	個		2	10	
ゲートバルブ	ステンレス 80A	個		3	10	
給水管	一般配管用ステンレス鋼鋼管 100A	m		1.70	10	
給水管	一般配管用ステンレス鋼鋼管 80A	m		15.30	10	新設時数量増加
給水管	一般配管用ステンレス鋼鋼管 40A	m		9.25	10	
給水管	一般配管用ステンレス鋼鋼管 32A	m		8.25	10	
弁類保温	グラスウール 100A	個	2	2	9, 10	
弁類保温	グラスウール 80A	個	3	3	9, 10	
弁類保温	グラスウール 40A	個		3	10	撤去は配管撤去に含む。
ボールバルブ	ステンレス 32A	個		5	10	撤去は配管撤去に含む。
フレキシブルジョイント	フレキシブルジョイント(ベローズ形) 40A	個		3	10	撤去は配管撤去に含む。

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		特記仕様書	—



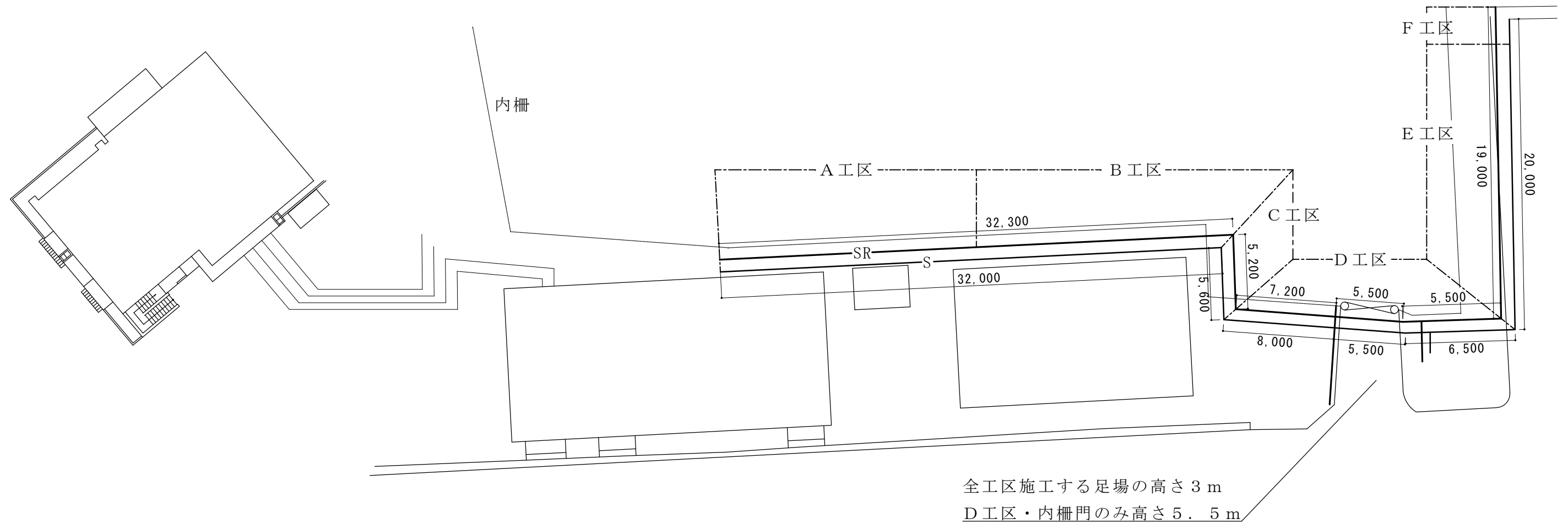
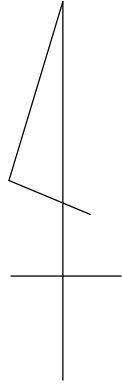
配置図



案内図

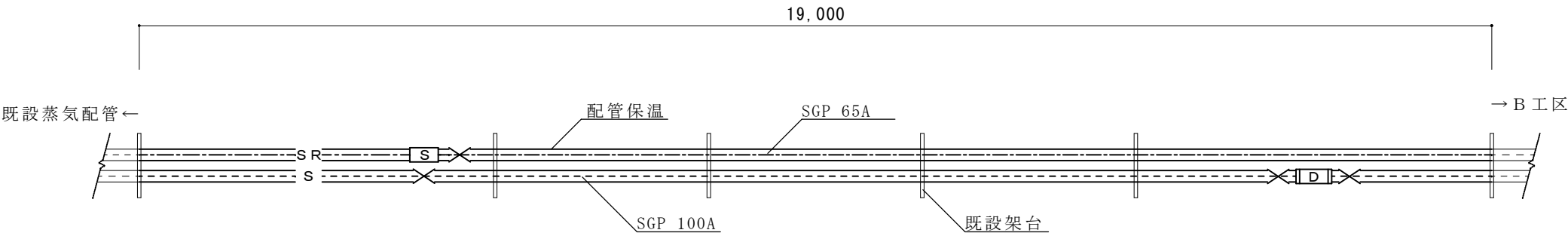
工事関係者以外不許複製

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		配置図・案内図	N/S	1/11

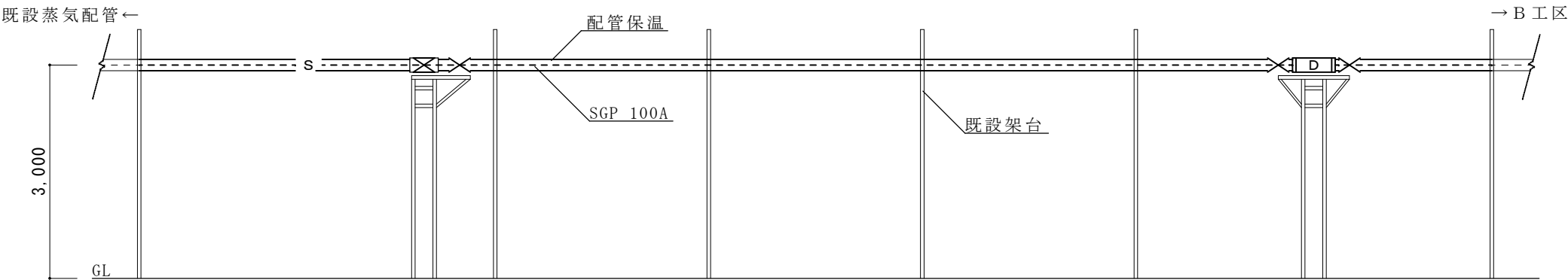


工事関係者以外不許複製

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		蒸気管配置図	N/S	2/11



平面図 S=1/80

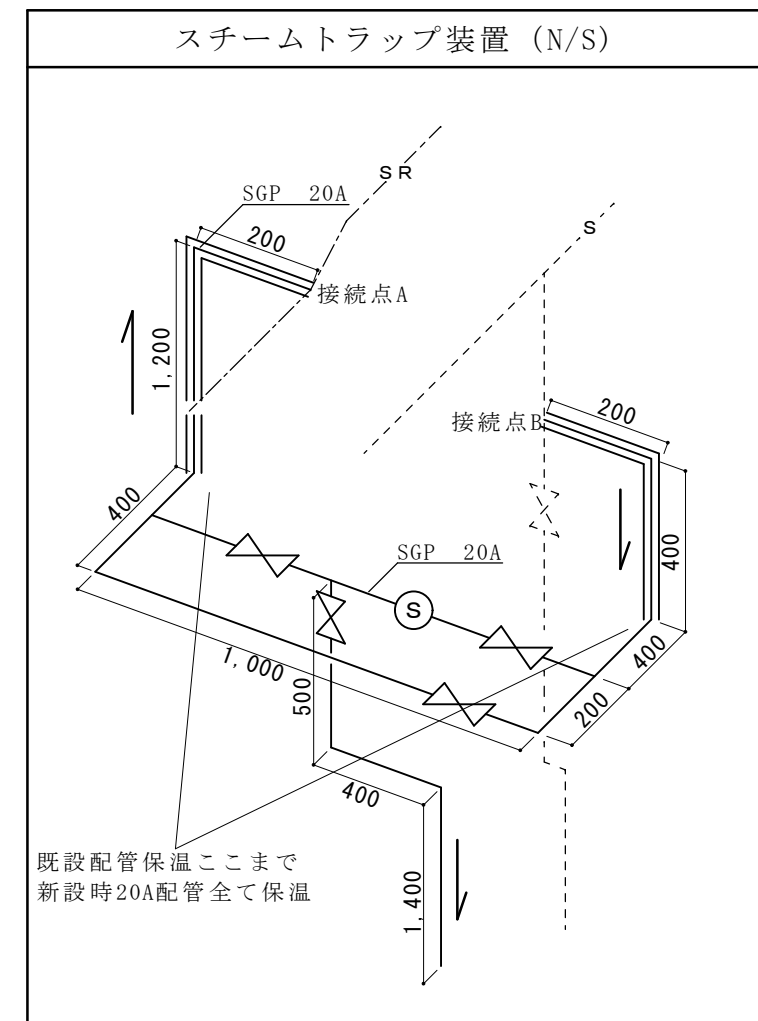
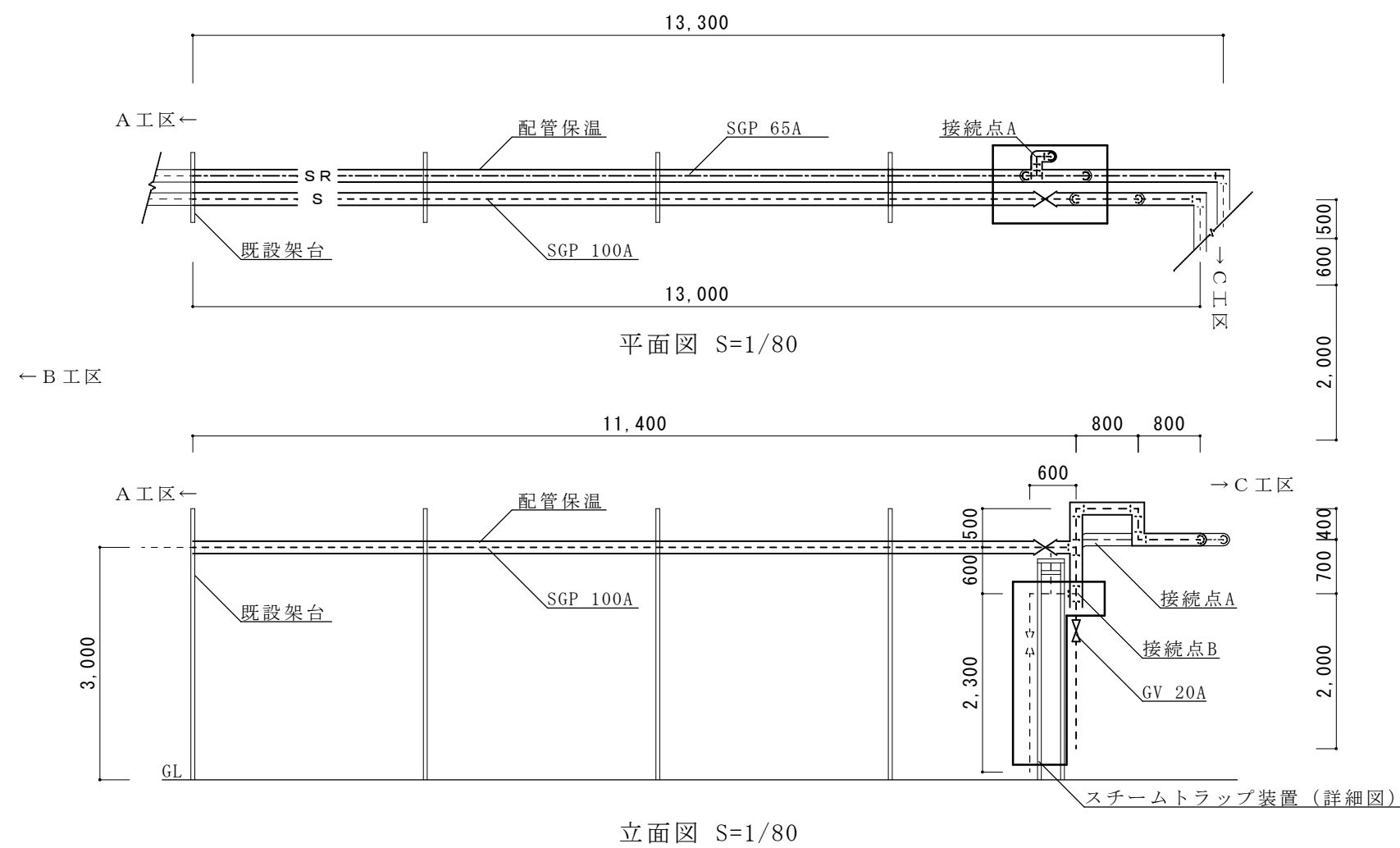


立面図 S=1/80

凡 例	名 称	規 格	撤去数量	施工数量
----- S -----	蒸気管（往）	S G P（黒管）100A JIS G 3452	19.000m	19.000m
----- S R -----	蒸気管（還）	S G P（黒管）65A JIS G 3452	19.000m	19.000m
	配管保温 100A	グラスウール保温材・ステンレス板	19.000m	19.000m
	配管保温 65A	グラスウール保温材・ステンレス板	19.000m	19.000m
	固定点		4個	4個
	伸縮管継手 100A	ベローズ型伸縮管継手	1個	1個
	伸縮管継手 65A	ベローズ型伸縮管継手	1個	1個

工事関係者以外不許複製

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		A 工区 撤去・新設図	図示	3/11



凡 例	名 称	規 格	撤去数量	施工数量
----- S -----	蒸気管 (往)	S G P (黒管) 100A JIS G 3452	14.600m	14.600m
----- S R -----	蒸気管 (還)	S G P (黒管) 65A JIS G 3452	13.300m	13.300m
=====	蒸気管	S G P (黒管) 20A JIS G 3452	9.300m	9.300m
=====	配管保温 100A	グラスウール保温材・ステンレス板	14.600m	14.600m
	配管保温 65A	グラスウール保温材・ステンレス板	13.300m	13.300m
	配管保温 20A	グラスウール保温材・ステンレス板	2.000m	9.300m
✕	固定点		1個	1個
✕	ゲートバルブ	20A		5個
Ⓢ	ストレーナ	20A		1個

工事関係者以外不許複製

工事件名

蒸気配管等更新工事

図面名称

縮 尺

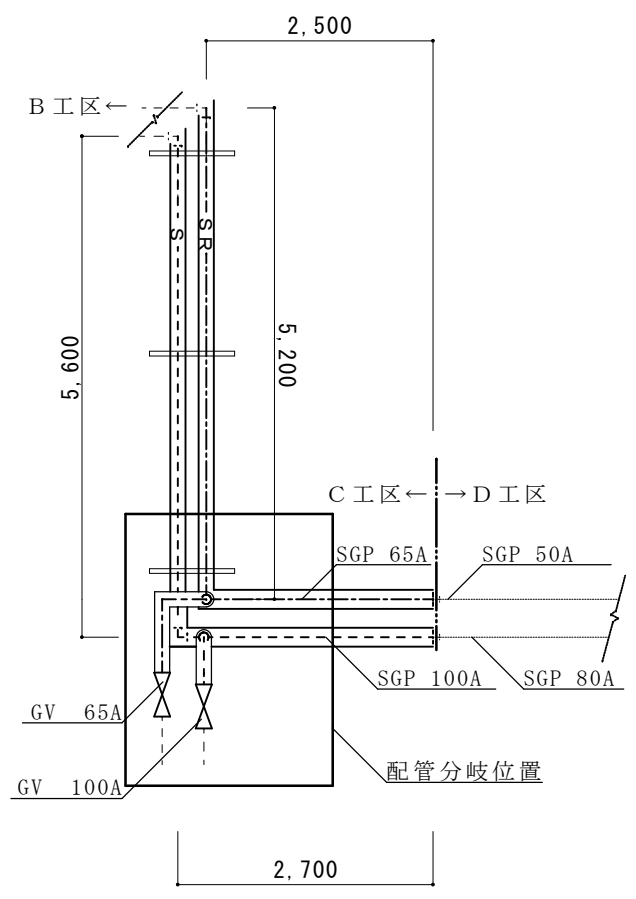
図面番号

航空自衛隊 静浜基地 施設隊

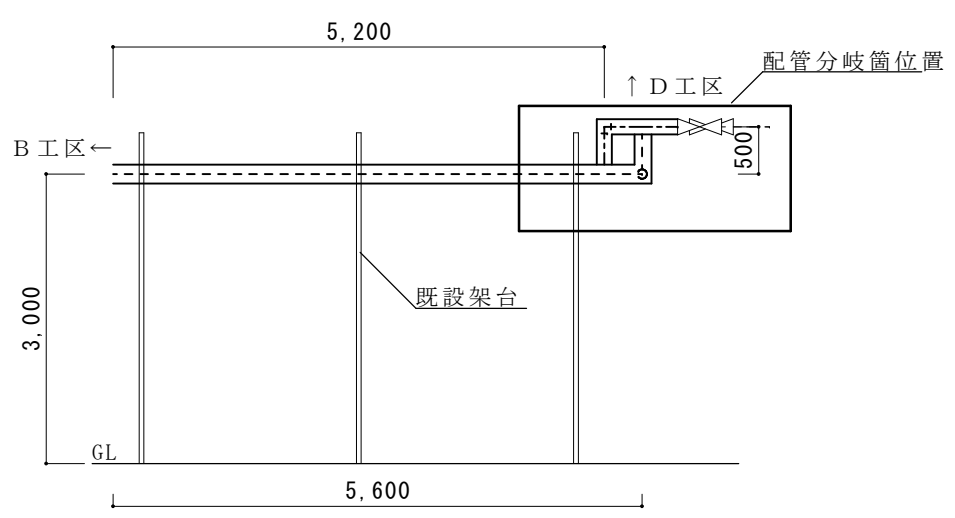
B 工区 撤去・新設図

図示

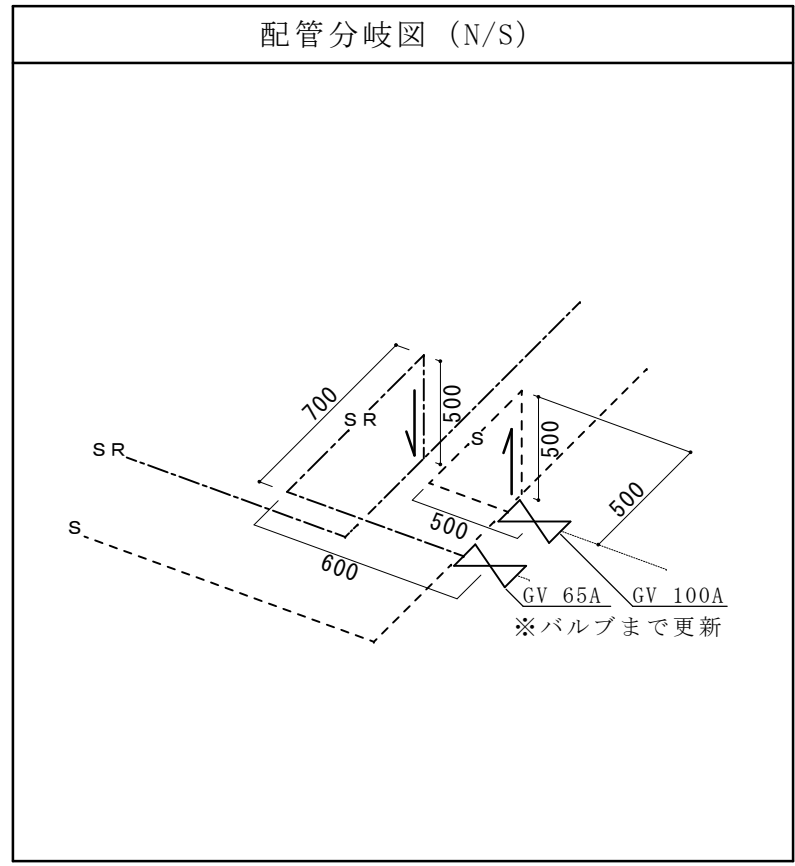
4/11



平面図 S=1/80



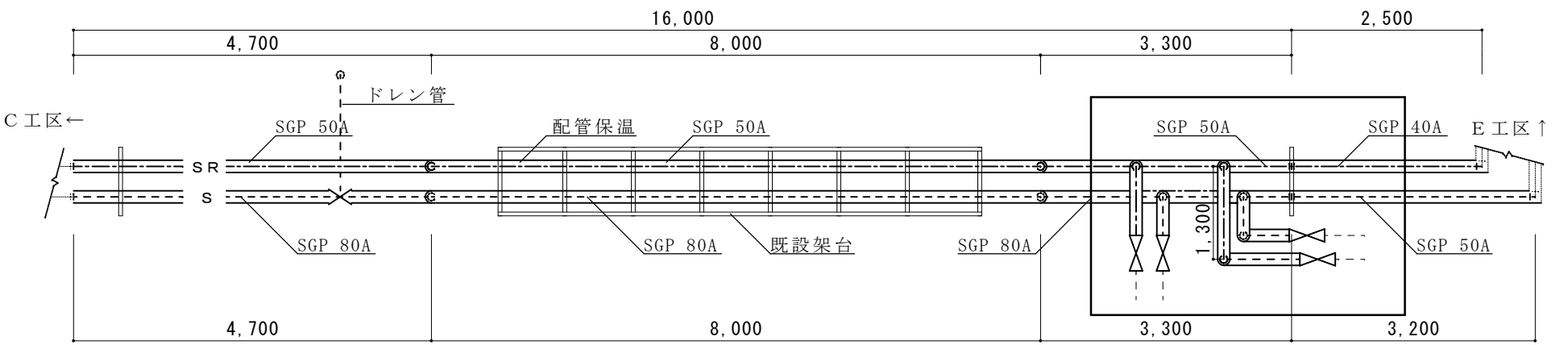
立面図 S=1/80



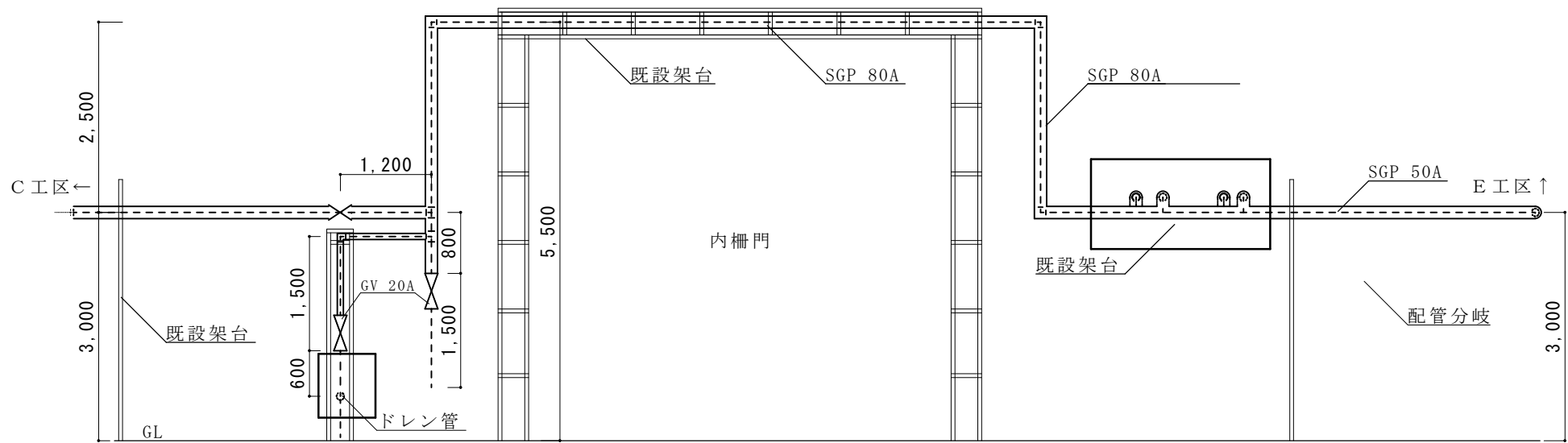
凡 例	名 称	規 格	撤去数量	施工数量
----- S -----	蒸気管（往）	S G P（黒管）100A JIS G 3452	9.800m	9.800m
----- S R -----	蒸気管（還）	S G P（黒管）65A JIS G 3452	9.500m	9.500m
	配管保温 100A	グラスウール保温材・ステンレス板	9.800m	9.800m
	配管保温 65A	グラスウール保温材・ステンレス板	9.500m	9.500m
	ゲートバルブ	100A（往）	1個	1個
		65A（還）	1個	1個

工事関係者以外不許複製

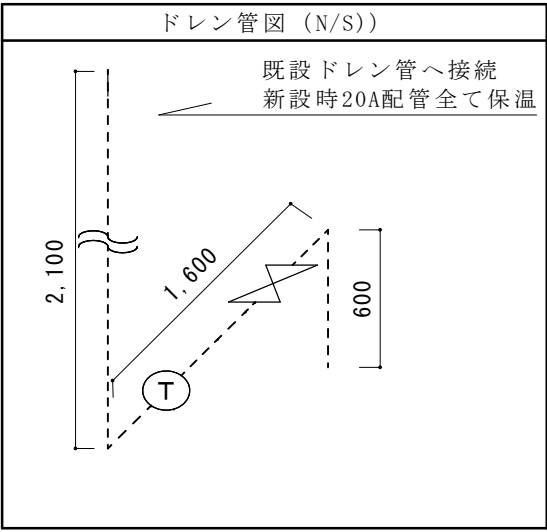
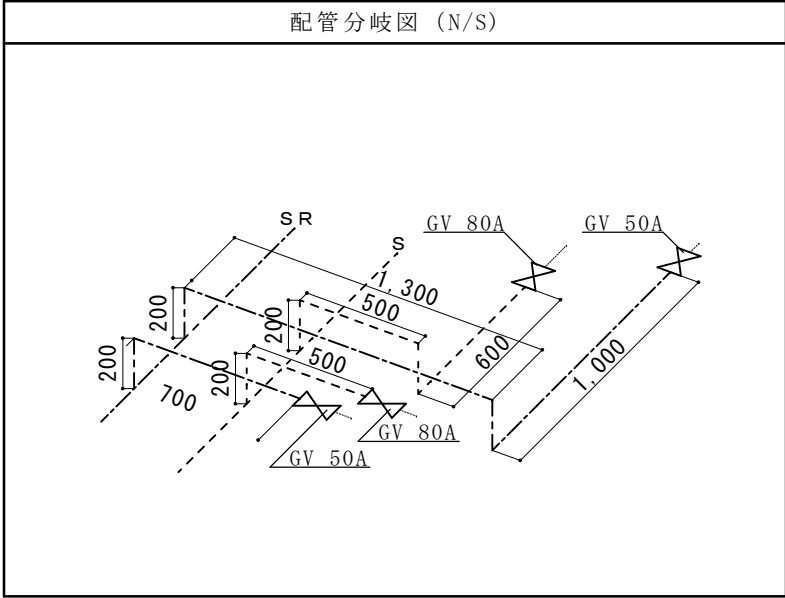
工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		C 工区 撤去・新設図	図示	5/11



平面図 S=1/80



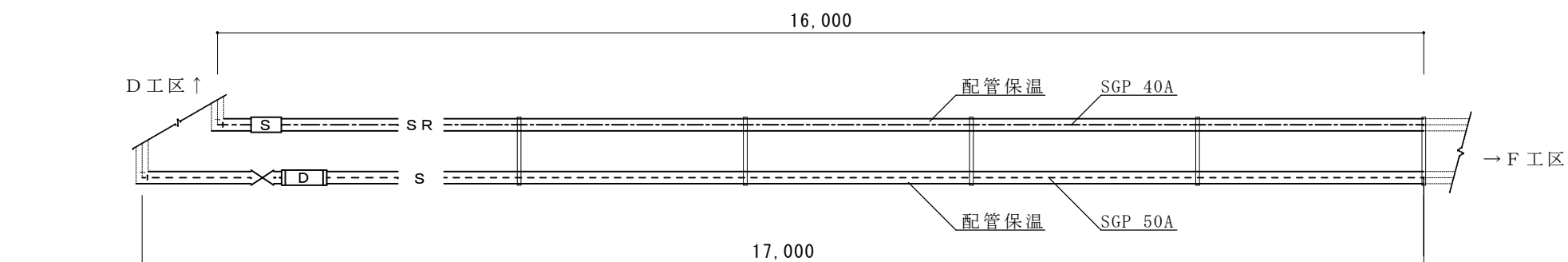
立面図 S=1/80



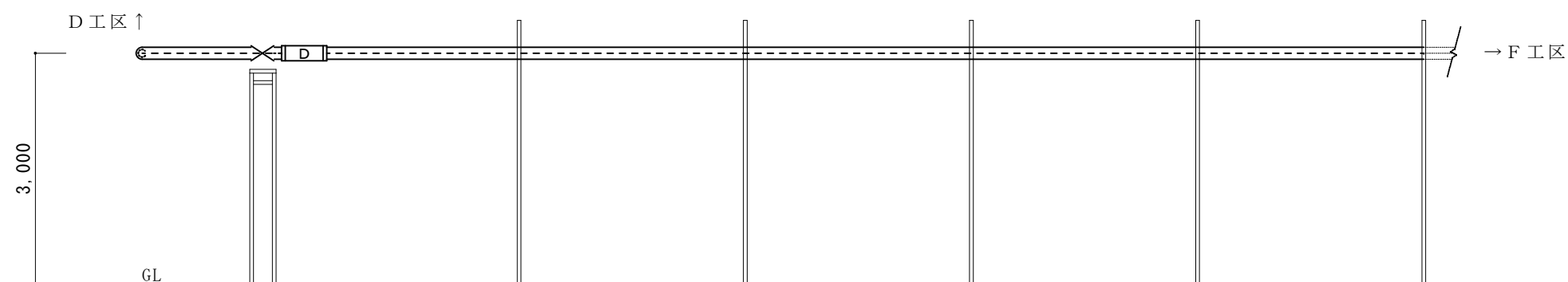
凡 例	名 称	規 格	撤去数量	施工数量
----- S -----	蒸気管（往）	S G P （黒管）80A JIS G 3452	24.000m	24.000m
		S G P （黒管）50A JIS G 3452	3.200m	3.200m
----- S R -----	蒸気管（還）	S G P （黒管）50A JIS G 3452	24.600m	24.600m
		S G P （黒管）40A JIS G 3452	2.500m	2.500m
-----	ドレン配管	S G P （黒管）20A JIS G 3452	7.000m	7.000m
=====	配管保温 80A	グラスウール保温材・ステンレス板	24.000m	24.000m
	配管保温 50A	グラスウール保温材・ステンレス板	27.800m	27.800m
	配管保温 40A	グラスウール保温材・ステンレス板	2.500m	2.500m
	配管保温 20A	グラスウール保温材・ステンレス板	2.700m	7.000m
X	固定点		1個	1個
X	ゲートバルブ	80A（往）	2個	2個
		50A（還）		2個
		20A		2個
Ⓣ	トラップ	20A		1個

工事関係者以外不許複製

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		D工区 撤去・新設図	図示	6/11



平面図 S=1/80

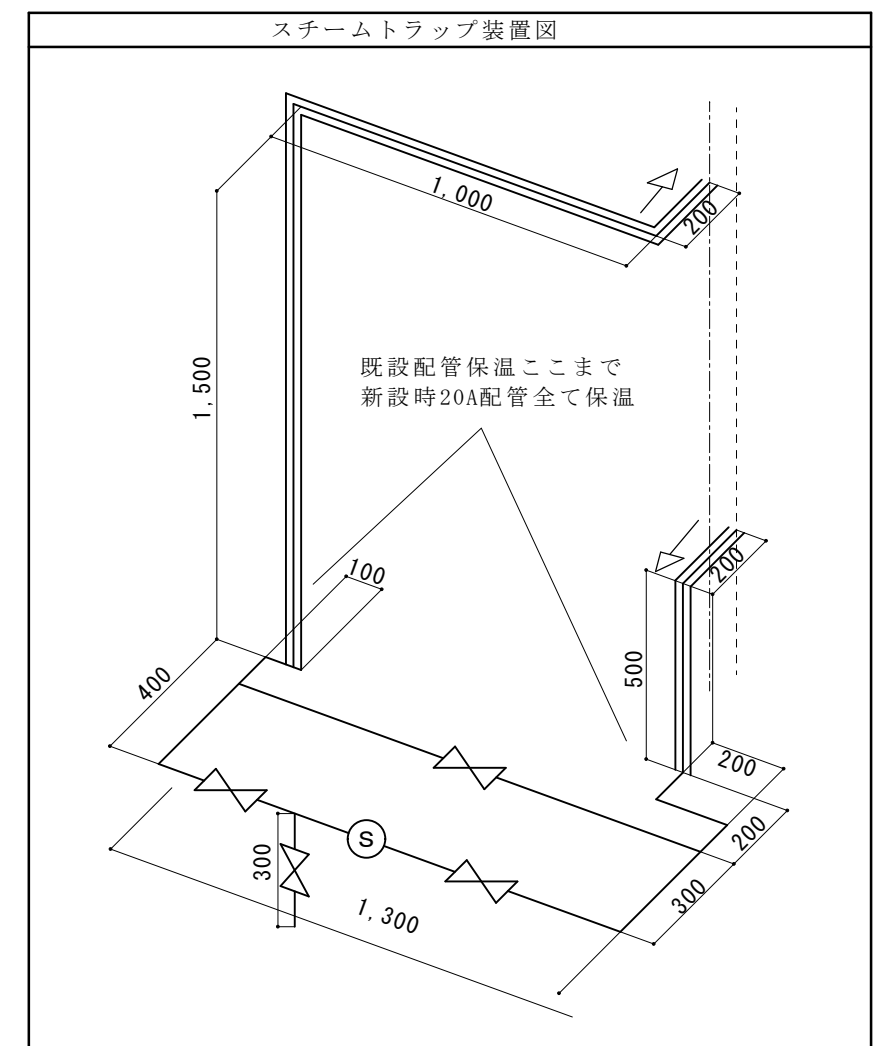
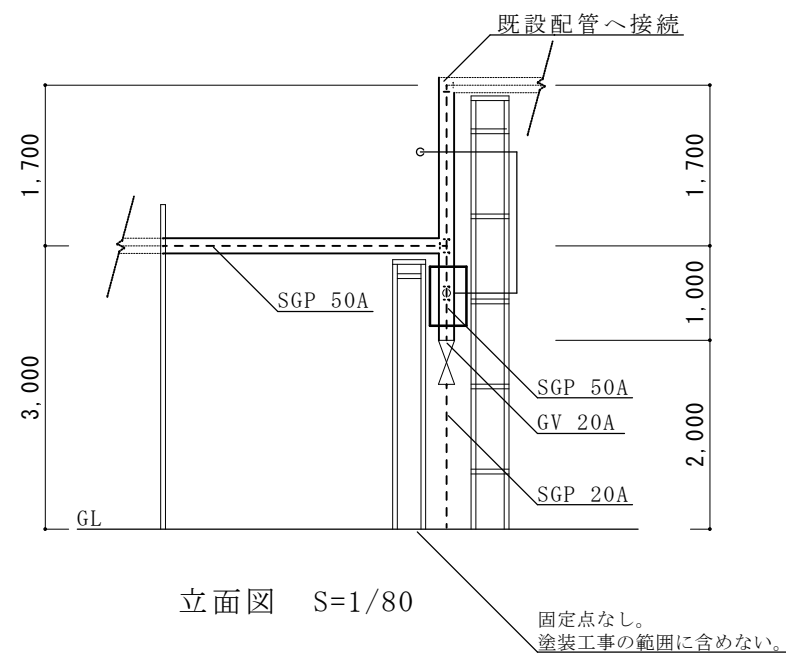
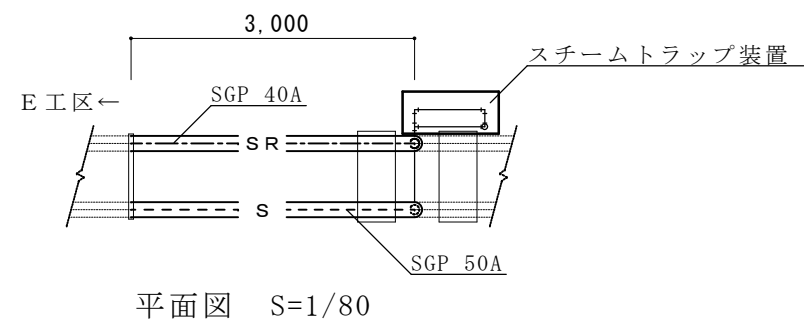


立面図 S=1/80

凡 例	名 称	規 格	撤去数量	施工数量
----- S -----	蒸気管（往）	S G P（黒管）50A JIS G 3452	17.000m	17.000m
----- S R -----	蒸気管（還）	S G P（黒管）40A JIS G 3452	16.000m	16.000m
	配管保温 50A	グラスウール保温材・ステンレス板	17.000m	17.000m
	配管保温 40A	グラスウール保温材・ステンレス板	16.000m	16.000m
	固定点		1個	1個
	伸縮管継手 50A	ベローズ型伸縮管継手		1個
	伸縮管継手 40A	ベローズ型伸縮管継手		1個

工事関係者以外不許複製

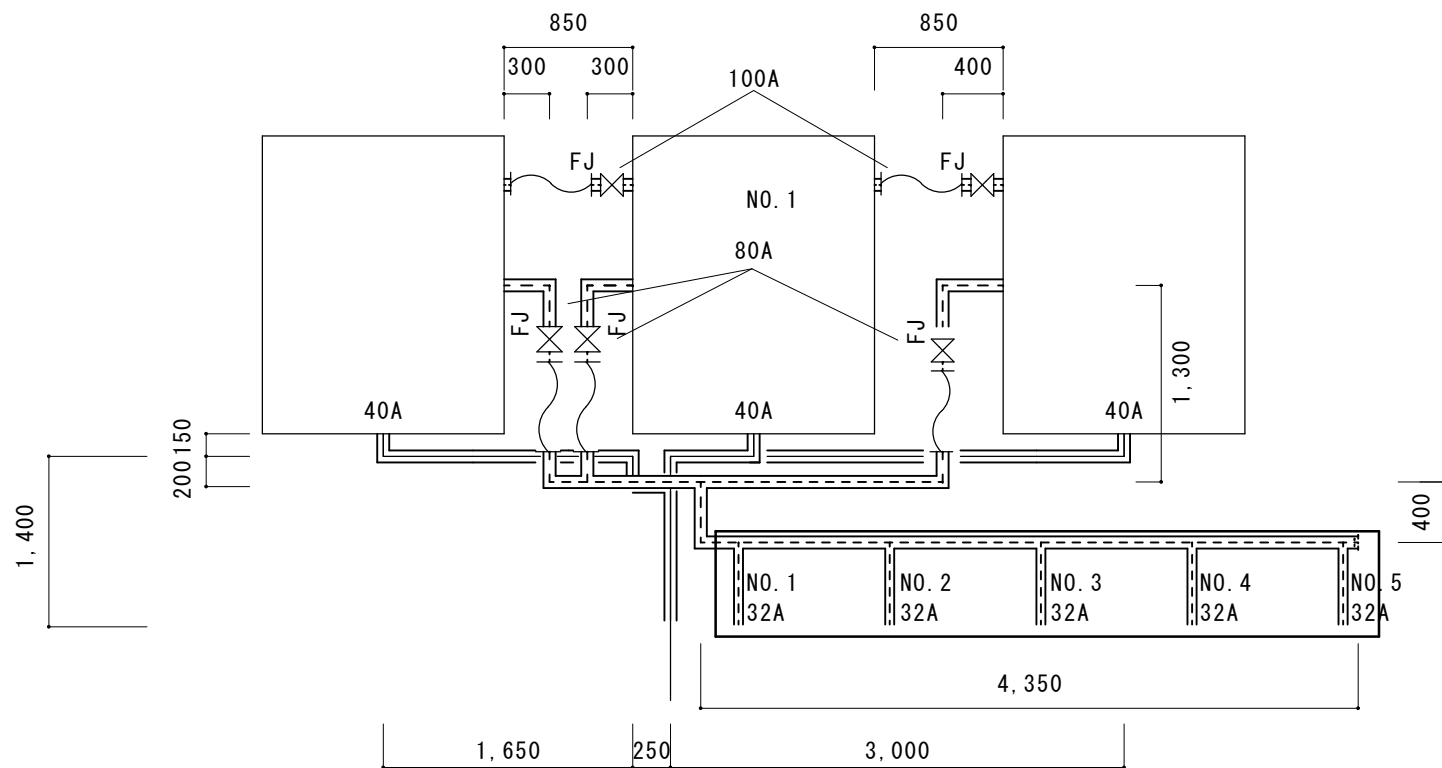
工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		E 工区 撤去・新設図	図示	7/11



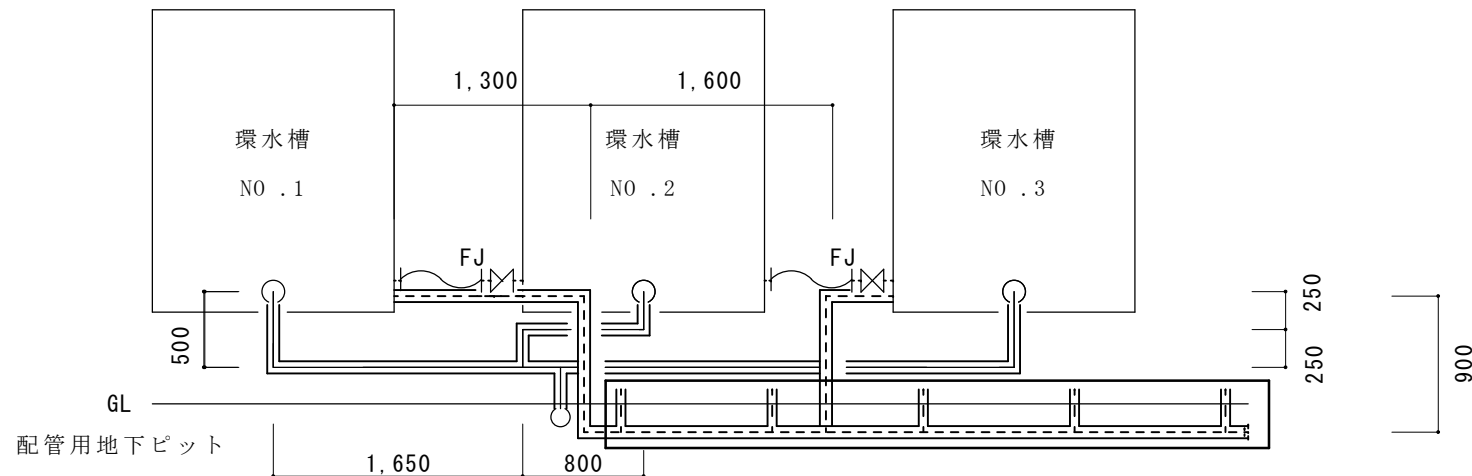
凡 例	名 称	規 格	撤去数量	施工数量
----- S -----	蒸気管 (往)	S G P (黒管) 50A JIS G 3452	5.700m	5.700m
----- S R -----	蒸気管 (還)	S G P (黒管) 40A JIS G 3452	4.700m	4.700m
=====	蒸気管	S G P (黒管) 20A JIS G 3452	9.500m	9.500m
=====	配管保温 50A	グラスウール保温材・ステンレス板	5.700m	5.700m
	配管保温 40A	グラスウール保温材・ステンレス板	4.700m	4.700m
	配管保温 20A	グラスウール保温材・ステンレス板	3.400m	9.500m
	ゲートバルブ	20A		5個
	ストレーナ	20A		1個

工事関係者以外不許複製

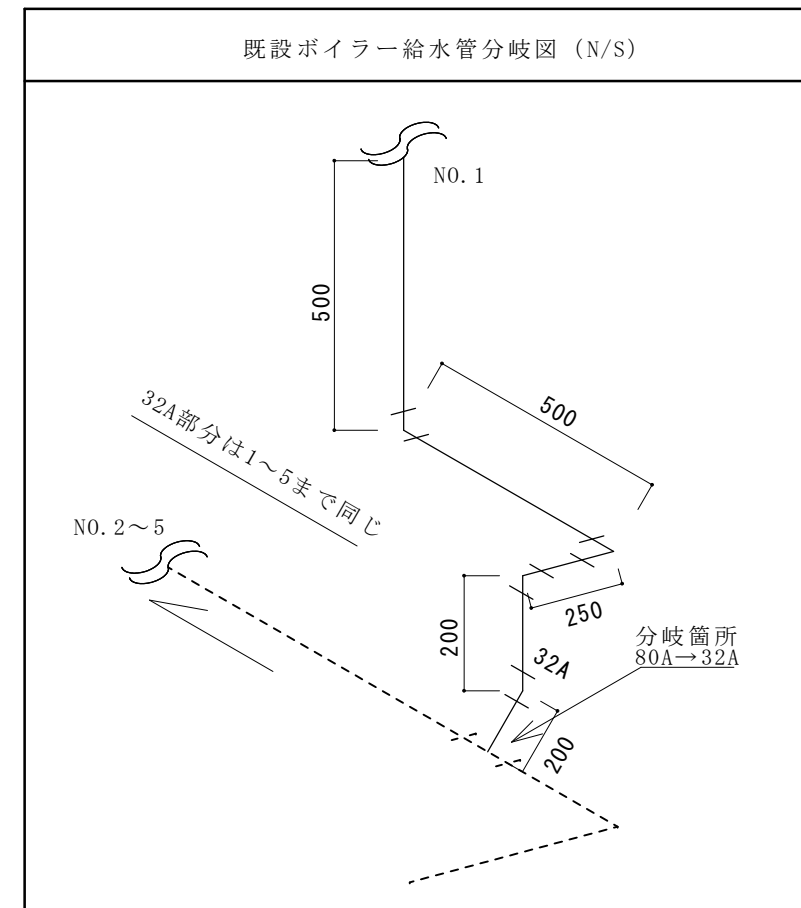
工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		F工区 撤去・新設図	図示	8/11

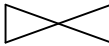


平面図 S=1/50



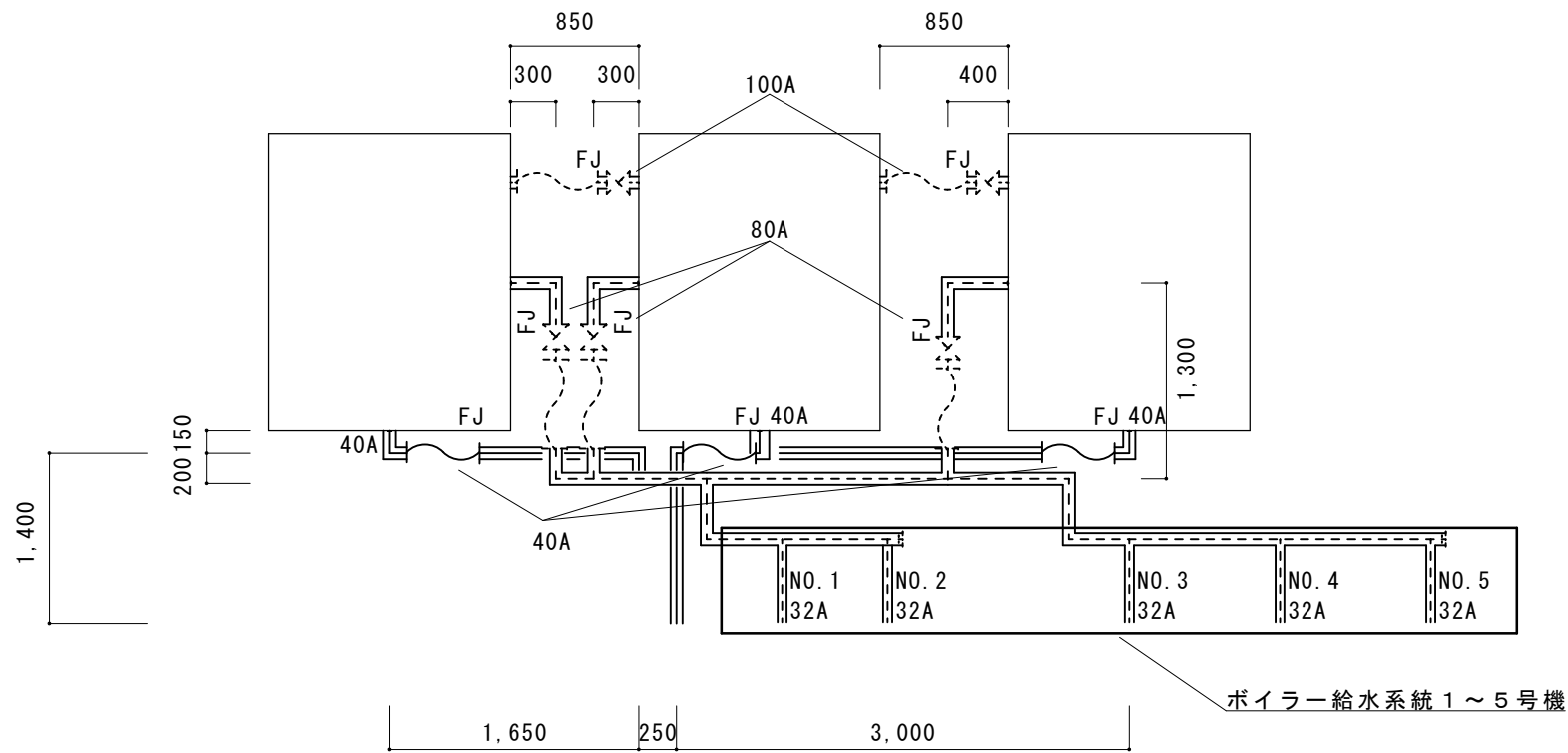
立面図 S=1/50



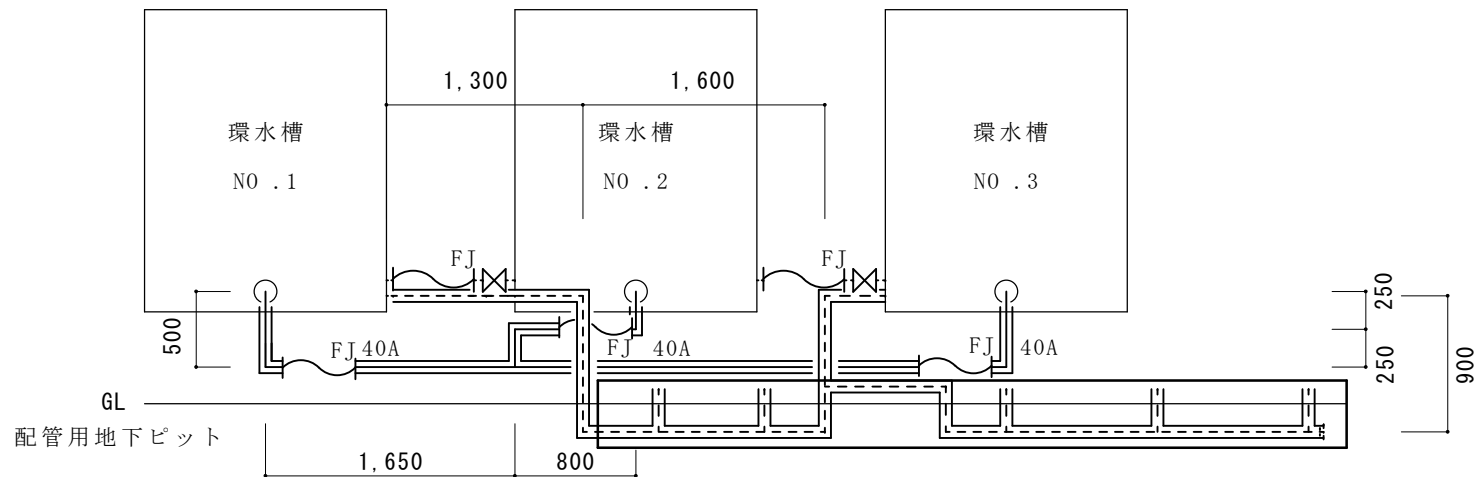
凡 例	名 称	規 格	撤去数量	凡 例	名 称	規 格	撤去数量
-----	給水管 (ボイラー系統)	S G P 管 (白管) 100A JIS G 3452	1.70m		ゲートバルブ	100A	2個
	給水管 (ボイラー系統)	S G P 管 (白管) 80A JIS G 3452	14.35m		ゲートバルブ	80A	3個
	給水管 (ボイラー系統)	S G P 管 (白管) 32A JIS G 3452	8.25m	 FJ	フレキシブルジョイント	ステンレス 100A ベローズ型	2個
-----	給水管管 (ドレンフィルター系統)	S G P 管 (白管) 40A JIS G 3452	9.25m		フレキシブルジョイント	ステンレス 80A ベローズ型	3個
=====	配管保温 100A	グラスウール保温材・アルミガラスクロス	1.70m				
	配管保温 80A	グラスウール保温材・アルミガラスクロス	14.35m				
	配管保温 40A	グラスウール保温材・アルミガラスクロス	9.25m				
	配管保温 32A	グラスウール保温材・アルミガラスクロス	8.25m				

工事関係者以外不許複製

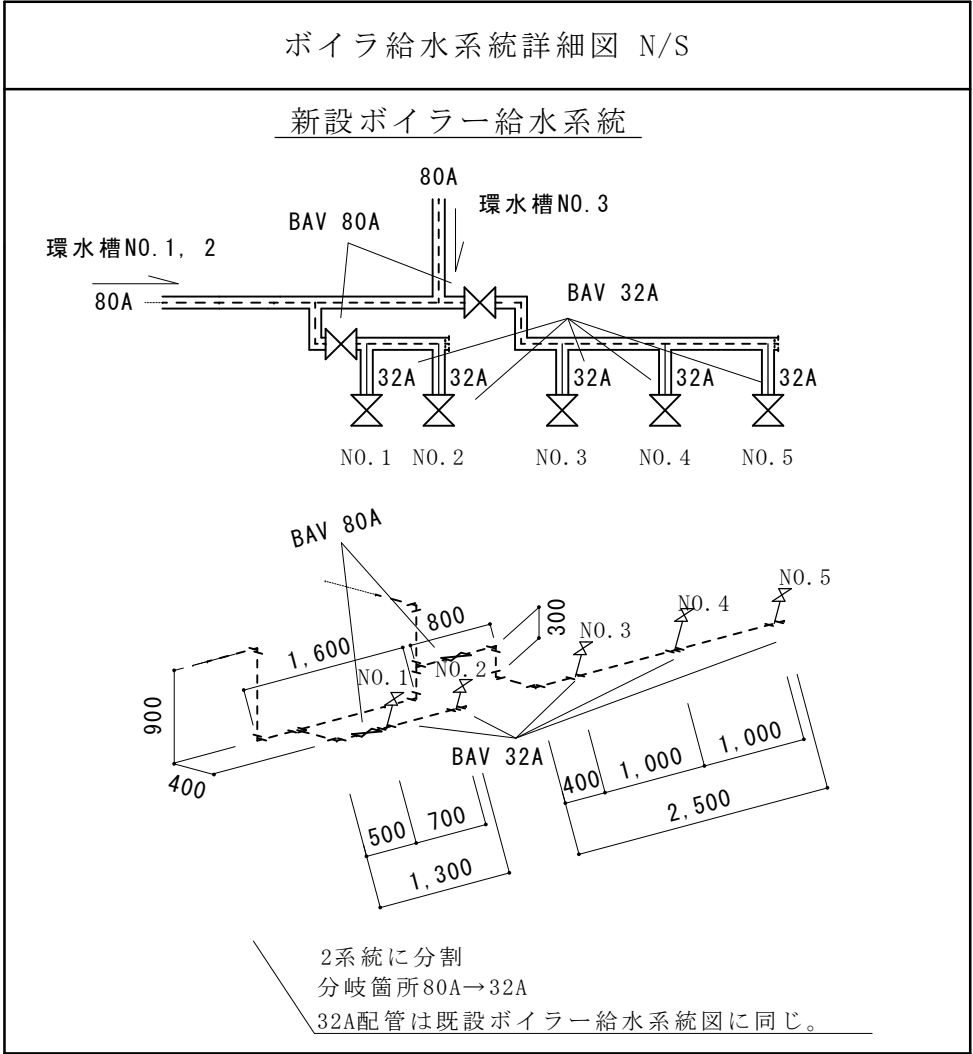
工事件名	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊	既設給水管 立面図・平面図	N/S	9/11



平面図 S=1/50



立面図 S=1/50



凡 例	名 称	規 格	施工数量	凡 例	名 称	規 格	施工数量
-----	給水管（ボイラー系統）	ステンレス管 100A JIS G 3459 SUS 304	1.70m	BAV	ボールバルブ	ステンレス 80A	2個
	給水管（ボイラー系統）	ステンレス管 80A JIS G 3459 SUS 304	15.30m		ボールバルブ	ステンレス 32A	5個
	給水管（ボイラー系統）	ステンレス管 32A JIS G 3459 SUS 304	8.25m		ゲートバルブ	ステンレス 100A	2個
—————	給水管管（ドレンフィルター系統）	ステンレス管 40A JIS G 3459 SUS 304	9.25m		ゲートバルブ	ステンレス 80A	3個
=====	配管保温 100A	グラスウール保温材・アルミガラスクロス	1.70m	FJ	フレキシブルジョイント	ステンレス 100A ペローズ型	2個
	配管保温 80A	グラスウール保温材・アルミガラスクロス	15.30m		フレキシブルジョイント	ステンレス 80A ペローズ型	3個
	配管保温 40A	グラスウール保温材・アルミガラスクロス	9.25m		フレキシブルジョイント	ステンレス 40A ペローズ型	3個
	配管保温 32A	グラスウール保温材・アルミガラスクロス	8.25m				

工事関係者以外不許複製

工事件名

蒸気配管等更新工事

図面名称

縮 尺

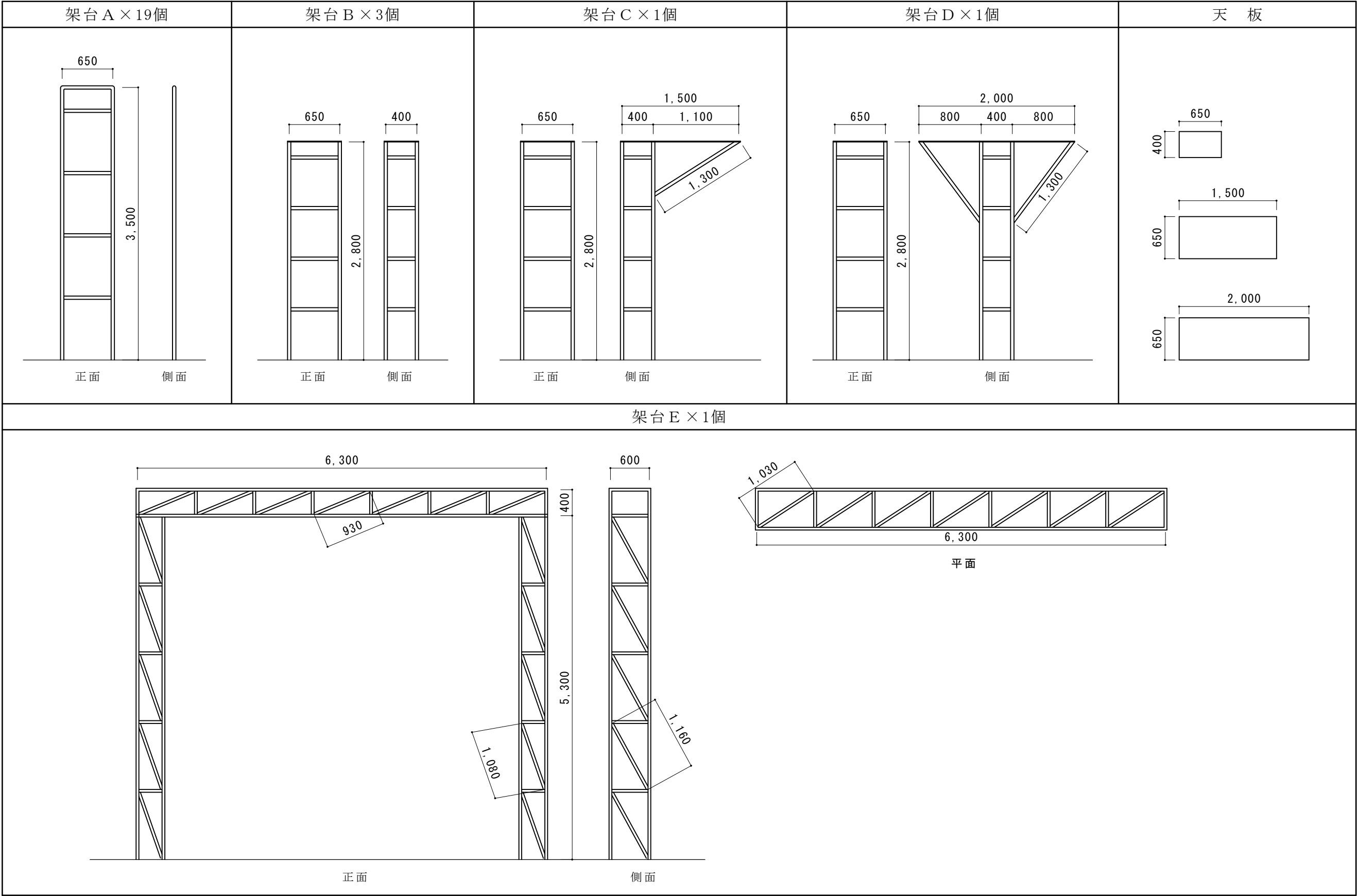
図面番号

航空自衛隊 静浜基地 施設隊

新設給水管 立面図・平面図

N/S

10/11



配管架台A～E 32A 外周42.7mm

工事関係者以外不許複製

工事件名	蒸気配管等更新工事	図面名称	縮 尺	図面番号
航空自衛隊 静浜基地 施設隊		架台詳細図	図示	11/11